Amifiable Inc.

AI搭載テスト自動化アプリ“MLET.Ⅱ”のご紹介
(特許第6902814号)

アミフィアブル株式会社

Copyright © 2023 Amifiable Inc. All rights reserved. Strictly Confidential.

Amifiable Inc.

MLET.Ⅱのご紹介

- **製品概要**
- 導入事例

Copyright © 2023 Amifiable Inc. All rights reserved. Strictly Confidential.

弊社概要

Amifiable Inc.

会社名	アミフィアブル株式会社
設立	2015年12月1日
資本金	9,000万円
所在地	〒153-0064　東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー9階
役員	代表取締役　河村 隆一 取締役　重松 論 取締役　中島 彰文 取締役　金　国
監査役	髙橋　景（しんせい総合法律事務所　弁護士） 塚田　拓也 (ストラーダ税理士法人　税理士・公認会計士)
監査法人	ESネクスト有限責任監査法人
社員数	37名　※2022年8月現在
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行　京橋支店 三井住友銀行　日比谷支店
顧問税理士法人	長谷川正和税理士事務所
顧問弁護士法人	平和橋通り法律事務所
認定資格	ISMS認証　認証番号　JP17/080460 プライバシーマーク　第17003130 労働者派遣事業許可証　許可番号　派13-308243 有料職業紹介事業許可証　許可番号　13-ユ-308801
ホームページ	https://www.amifiable.co.jp/
主要事業	経営コンサルティング、ITコンサルティング AIアプリケーション開発 メディア広告、サッカースクール運営

Copyright © 2023 Amifiable Inc.　All rights reserved.　Strictly Confidential.

背景

IT市場におけるお客様の困りごと（一般例）

Amifiable Inc.

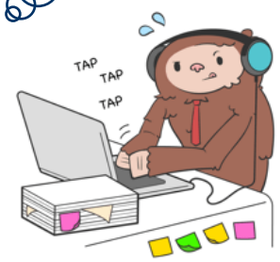
昔から現在まで、システム開発における課題は積みあがっています。

お客様の困りごと (例)

レガシーシステムの
テスト自動化が
できないかなあ。

利益率の向上の
うち手はないものか

人手不足解消したい



ユーザテストの
自動化ができないかなあ

新たなテクノロジーを
追求したい

いつまで旧来の労働集約型を続けますか？

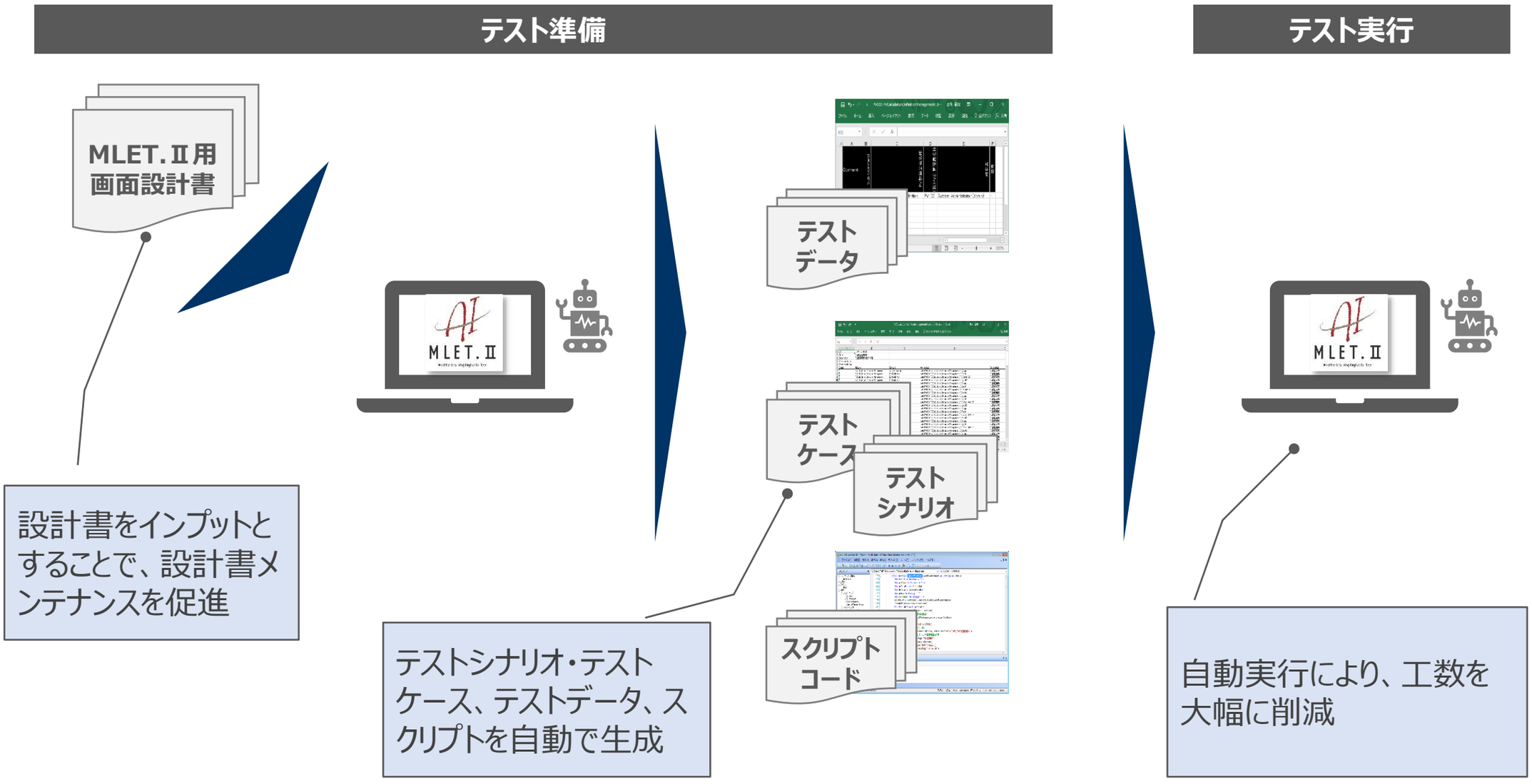
MLET.Ⅱが解決します

Copyright © 2023 Amifiable Inc. All rights reserved. Strictly Confidential.

MLET.Ⅱ　概要

MLET.Ⅱとはテストコストを削減するだけではなく、テスト品質の向上、貴社ナレッジの蓄積、管理の効率化、テスト工期の削減等、テストに関わる総合力を底上げするAIテストツールです。

MLET.Ⅱ　概要



Copyright © 2023 Amifiable Inc. All rights reserved. Strictly Confidential.

MLET.Ⅱの特長

Amifiable Inc.

MLET.Ⅱは設計書のインプットのみで後続作業は自動化が可能です。

開発フェーズにおけるテストタスク		手仕事	既存の自動化ツール	MLET.Ⅱ
テストプラン作成		人手	人手	人手
品質管理基準策定		人手	人手	人手
テスト準備				
	業務フロー、設計書の読み込み	人手	人手	人手
	テストシナリオ・ケース作成	人手	人手	**自動**
	テストスクリプト (手順書)作成	人手	一部自動	**自動**
	テストデータ作成	人手	人手	**自動**
テスト実行				
	テストデータ入力	人手	自動	**自動**
	テスト実施	人手	自動	**自動**
	テスト結果取得	人手	人手	**自動**
検証				
	テスト結果検証	人手	人手	一部自動
管理				
	各種ドキュメント管理	人手	人手	**一元管理**
	進捗管理	人手	人手	**一元管理**
	障害管理	人手	人手	**一元管理**

Copyright © 2023 Amifiable Inc. All rights reserved. Strictly Confidential.

特許領域　※特許申請書類から抜粋

Amifiable Inc.

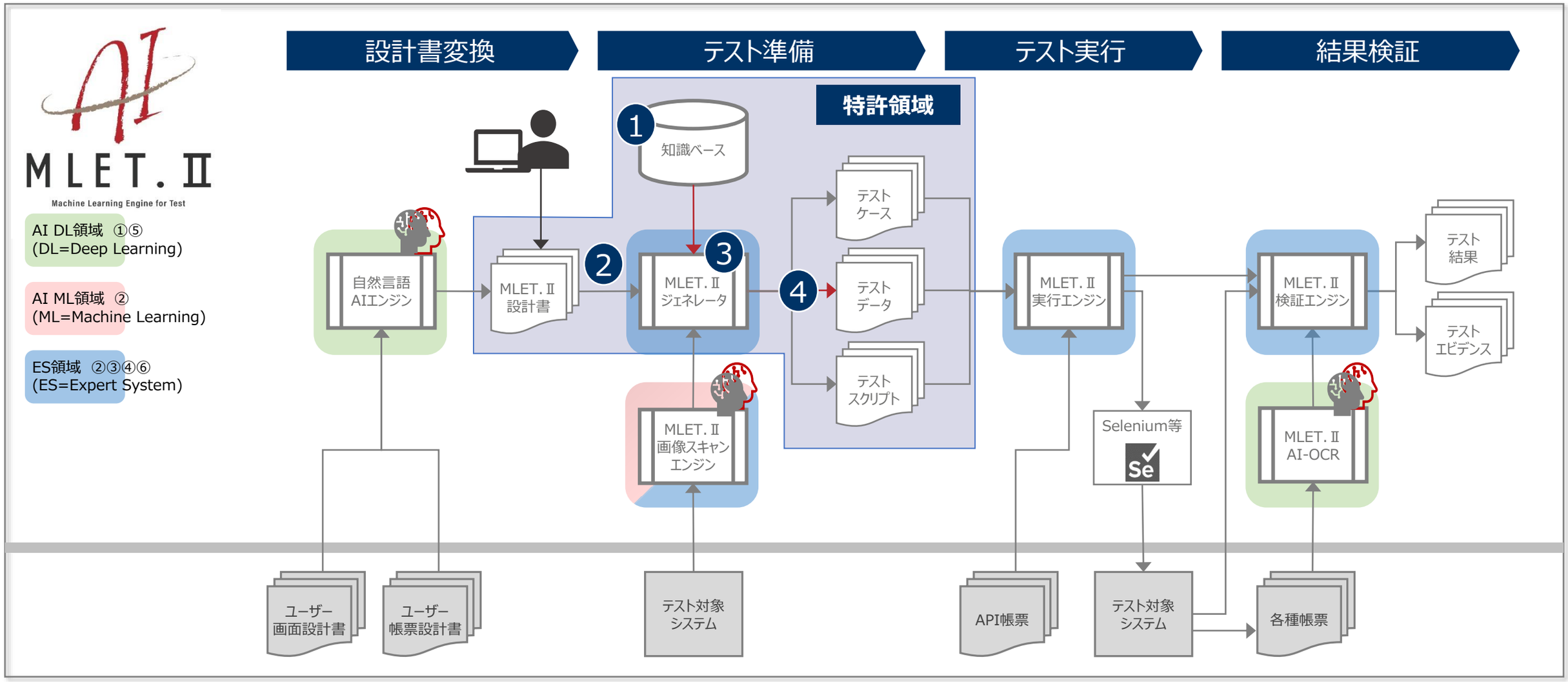
特許を取得した「テスト支援システム、テスト支援方法及びプログラム」は、「モデル記憶部」、「画面定義入力部」「生成部」「出力部」の4つを備えることを特徴としています。

❶ モデル記憶部：システムの画面定義情報を入力データとし、テストケース、テストプログラム及びテストデータの少なくともいずれかを教師データとして　学習させた学習モデルを記憶する。

❷ 画面定義入力部：テスト対象のシステムの画面定義情報の入力を受け付ける。

❸ 生成部：画面定義情報を学習モデルに与えてテストケース、テストプログラム及びテストデータの少なくともいずれかを生成する。

❹ 出力部：生成したテストケース、テストプログラム及びテストデータの少なくともいずれかを出力する。



Copyright © 2023 Amifiable Inc.　All rights reserved.　Strictly Confidential.

設計書標準化のアプローチとナレッジトランスファー

Amifiable Inc.

MLET.Ⅱでは設計書をインプットに自動化を行うため、現設計書の標準化も推進できます。

弊社の「MLET.Ⅱナレッジの継承」のみならず、導入企業内での「機能仕様ナレッジの蓄積」「設計漏れの防止(属人化抑止)」を同時に推進することができます。

設計書の標準化

	PoC	立上げ	量産	成熟
	•導入時の効果測定および見積ができている状態 •弊社コンサルタントが見本となる**標準形の設計書**を作成	•**貴社メンバーの方々のMLET.Ⅱナレッジの蓄積**を進めている状態 •レビューは弊社メンバーが担当し、MLET.Ⅱ独自のレビュー観点を蓄積	•**貴社メンバーで自走**できている状態 •都度発生する疑問に対しては弊社コンサルタントが伴走	•外部に開発委託している場合、**開発パートナー様側でも標準化およびテスト自動化**によるメリットを共有できている状態
作成	•弊社コンサルタント	•貴社メンバー •弊社コンサルタント(工数補助)	•貴社メンバー	•開発パートナー •貴社メンバー
レビュー	•弊社コンサルタント	•貴社メンバー(システム/業務仕様) •弊社コンサルタント(MLET仕様)	•貴社メンバー	•貴社メンバー •開発パートナー様
アドバイス	•弊社コンサルタント	•弊社コンサルタント	•弊社コンサルタント •貴社メンバー	•貴社メンバー •弊社コンサルタント

Copyright © 2023 Amifiable Inc. All rights reserved. Strictly Confidential.

メディア掲載事例

Amifiable Inc.

2022年9月14日の日経にMLET. Ⅱの取組みが取り上げられました。

開発スピードを上げると同時にシステムの品質を保つには、テスト工程が鍵を握る。品質を担保する工程であるのに加え、大きな工数を要するからだ。

ただ開発現場によっては、画面定義書を見ながらテストケースを作成し、キー入力と目視でチェックするといった作業を繰り返すことがある。複雑なシステムを改修する際は、変更した箇所の影響を確認する回帰テストを人手で行うケースも多い。テスト作業の多くは労働集約型になりがちだ。

こうしたテストの工数を減らせる「テストAIツール」が登場している。以下でSBI生命保険とZOZOの事例を取り上げる。

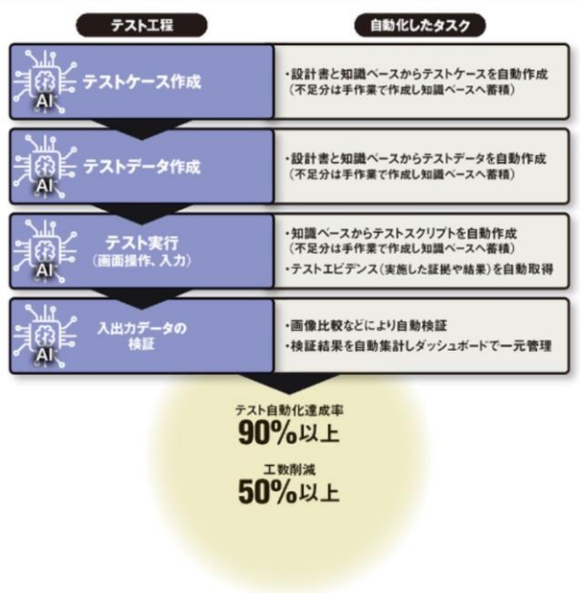


図 SBI生命保険がテストAIツール「MLET. II」で自動化したタスクと効果
テストのタスクを9割以上自動化
[画像のクリックで拡大表示]

システム連携テストの工数を半減

SBI生命保険はアミフィアブル（東京・目黒）のテストAIツール「MLET. II（エムレット ドットツー）」を採用し、工数削減に取り組んでいる。同ツールは専用フォーマットで記述された画面定義書や、テスト対象画面をAIで解析し、テストデータやテストケース、ユーザーインターフェースの自動テストツール「Selenium（セレニウム）」のテストスクリプトなどを生成する。

SBI生命保険は全国の金融機関と、自社の団体信用保険システムとの接続を進めている。金融機関が住宅ローンを融資する際、団体信用保険としてSBI生命保険の商品を販売するためだ。金融機関との接続には、保険加入者の情報をやり取りするのに疎通テストや画面経由の帳票出力テストなどが必要になる。SBI生命保険の池山徹取締役兼執行役員情報システム部担当団体保険部担当は「テストに圧倒的な作業量が必要となり、手作業では限界だった」と説明する。

根強い住宅取得需要もあり、SBI生命保険のシステムと接続する金融機関の数は増加。2022年7月だけでも約20の金融機関と新規に接続しなければならず、今後の増加も見込まれていた。SBI生命保険はテストを手作業で実施していたが、「このままではテスト工数が膨れ上がり、金融機関との接続が遅延してしまう恐れがあった」（池山取締役）。

記事引用：SBIインシュランスグループ ニュースリリース

Copyright © 2023 Amifiable Inc. All rights reserved. Strictly Confidential.

Amifiable Inc.

MLET.Ⅱのご紹介

- 製品概要
- **導入事例**

Copyright © 2023 Amifiable Inc. All rights reserved. Strictly Confidential.

ブラウザ比較テスト機能例

IE11サポート終了の影響を受けている企業様も多いと推察します。MLET. Ⅱのブラウザ比較機能は微妙なズレも全てGAPとして判定するため、他ブラウザへの切替検証の際も大きな効果を発揮します。

アンダーバーの色の違いを認識

微妙な高さのズレを認識

色の違いを認識

高さがずれることで全体レイアウトが微妙にずれる。

Copyright © 2023 Amifiable Inc. All rights reserved. Strictly Confidential.

システム脆弱性診断への対応例

Amifiable Inc.

国内保険会社における変額保険システムのテスト自動化をMLET.Ⅱによって実現した事例です。テストシナリオは、ユーザと認識合意のうえ、 UML変換スクリプトにより自動化を実施しました。

プロジェクト概要

背景

脆弱性診断への指摘に対応するためのシステム改修後、全量再テストにMLET.Ⅱを採用

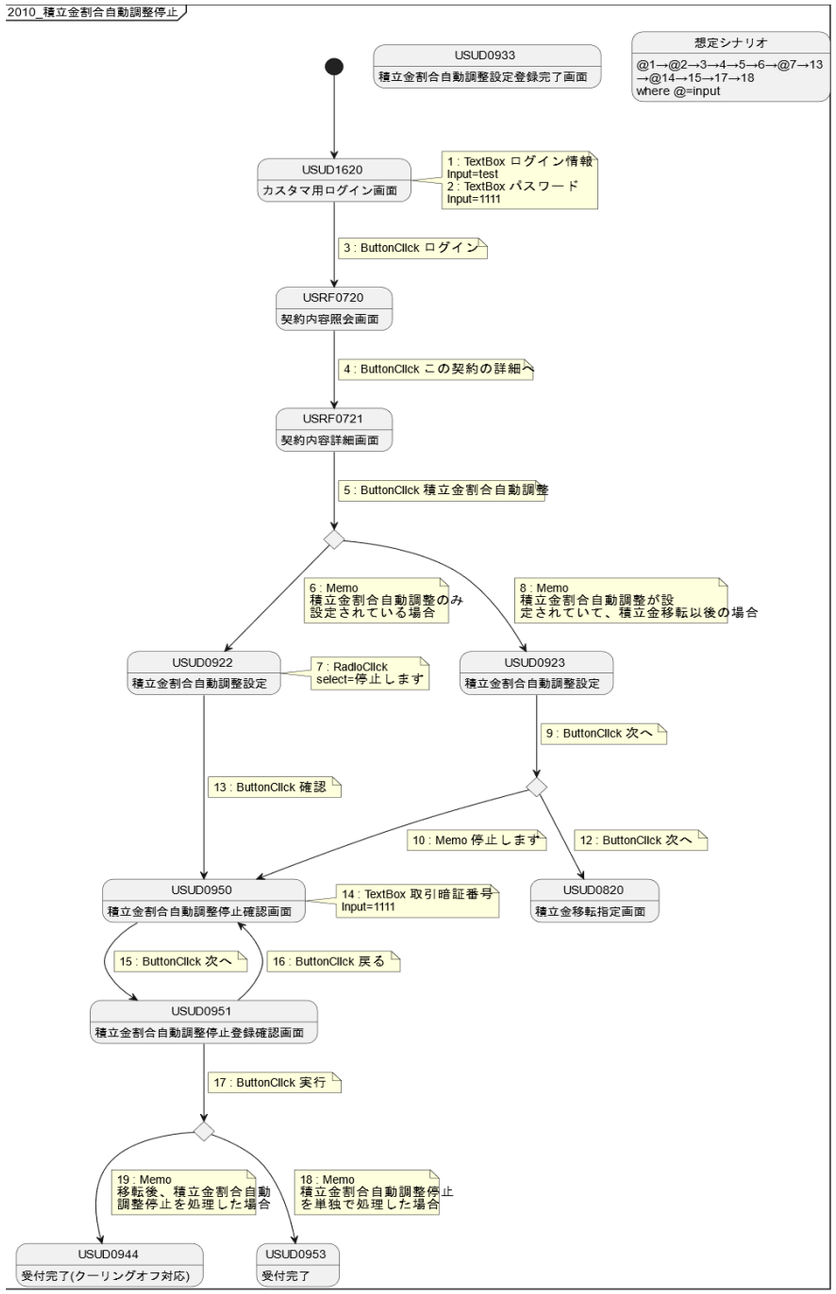
実施内容

対象システム ：VAS（変額保険）
OS ：Windows
ブラウザ ：Google Chrome
実施テスト ：画面単体テスト、
画面間連携業務シナリオテスト
対象画面数 ：52
シナリオ総数 ：102

結果

- 計102シナリオをMLET.Ⅱで自動化
- 再テスト実工数は6人月（2名3カ月）
- 今後発生する修正に対しても自動化を可能にする対応を実施

テストシナリオ例

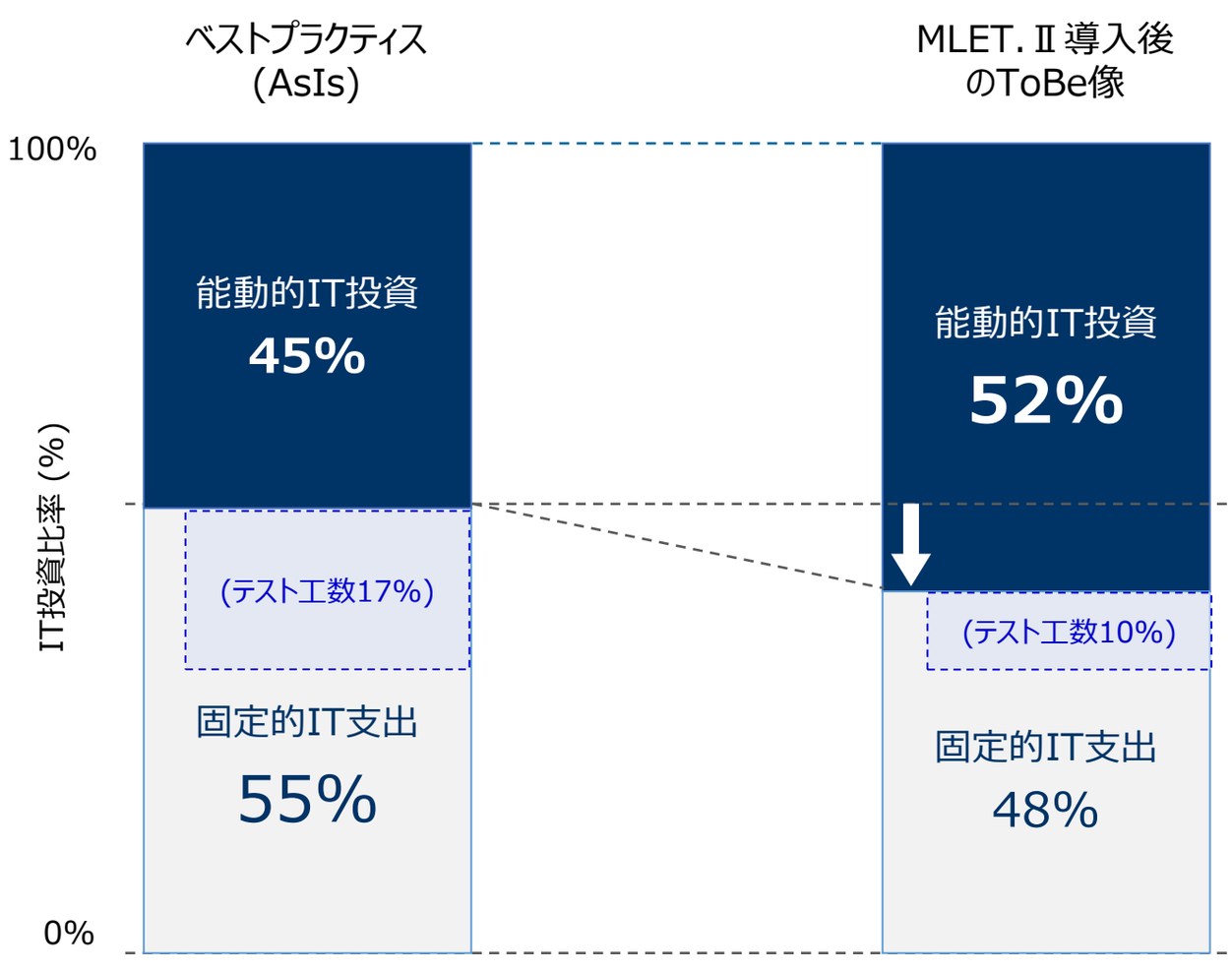


Copyright © 2023 Amifiable Inc. All rights reserved. Strictly Confidential.

MLET.Ⅱの効果 ~ IT投資

MLET.Ⅱによりテスト工数(固定的IT支出)を削減することで、戦略目標に直結した能動的IT投資に振り向ける施策をとることも可能になると考えます。

能動的IT投資 VS 固定的IT支出



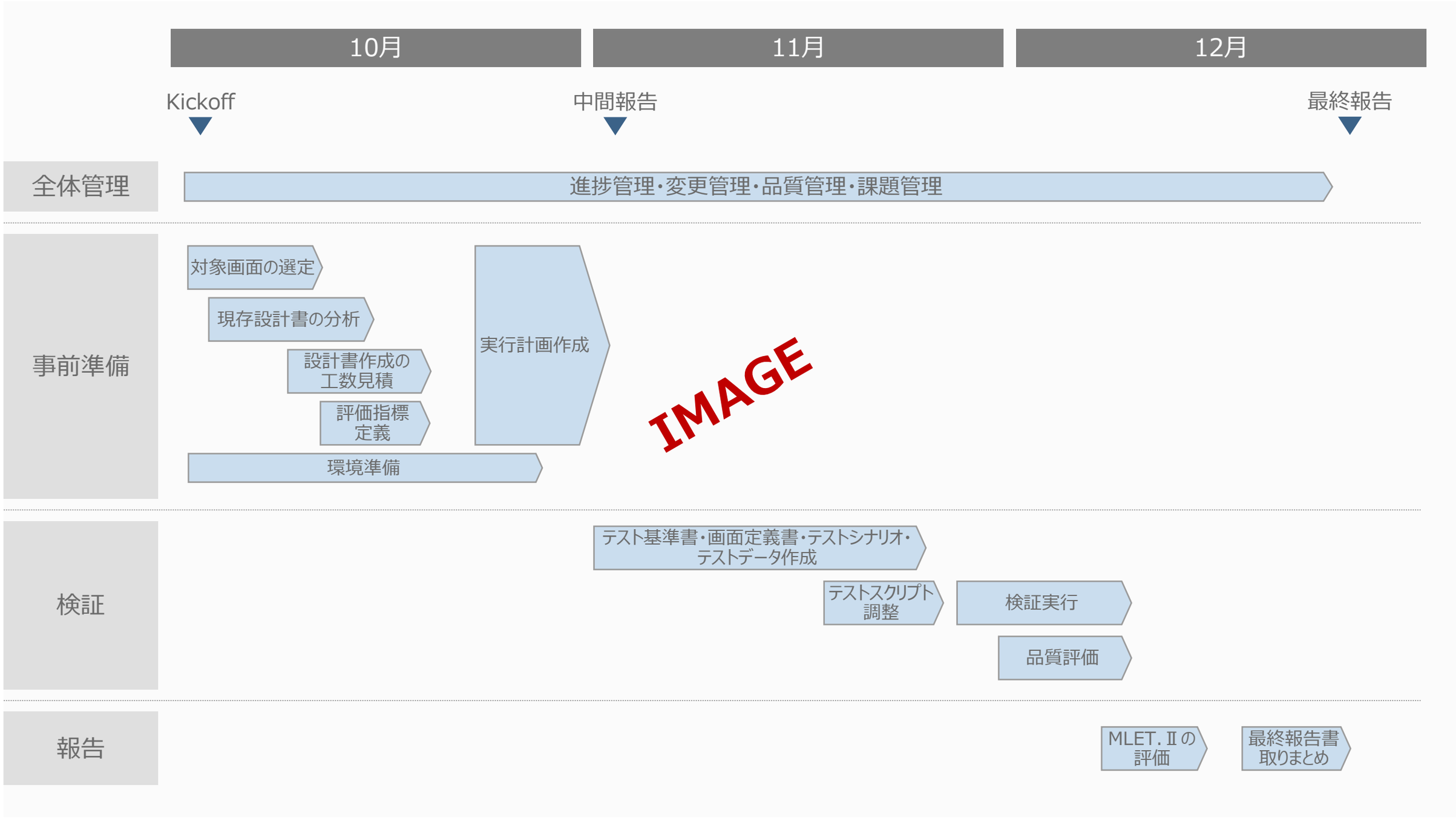
※能動的IT投資の内訳
トップ３の戦略目標に直結した投資 ： それ以外の投資
＝ 65% ： 35%

Copyright © 2023 Amifiable Inc. All rights reserved. Strictly Confidential.

PoCの実施内容

Amifiable Inc.

本格導入に向けてまずはPoCを実施したいという企業様が大半です。通常の場合、PoCは3か月程度で報告書のとりまとめまで完了させることができます。



Copyright © 2023 Amifiable Inc. All rights reserved. Strictly Confidential.

連絡先

Amifiable Inc.

本資料に関するお問い合わせは、以下リンクよりお願いします。
後日担当者よりご連絡させていただきます。

https://www.amifiable.co.jp/contact

Copyright © 2023 Amifiable Inc. All rights reserved. Strictly Confidential.